



湾岸・アラビア半島地域ニュース

UAE：最近のインフレ状況 (10月10日付「ハリージュ・タイムス」)

1. アブダビ首長国のインフレ

2006年のUAE全体のインフレ率は9.3%で、アブダビ計画経済庁によれば、同首長国の2007年上半期の消費者物価は前年同期比11.3%上昇したと見られている。

2. スウェイデイ UAE 中央銀行総裁の発言

現況のインフレに通貨政策は有効ではなく、インフレへの対応はむしろ財政政策と政府支出が鍵となる。従って、ドルペッグ制策はインフレの根本原因ではなく、(インフレの主要因とされる)住宅の追加供給が今後のインフレ緩和には有効である。実際、UAEの輸入品の30%が米ドル流通圏外である欧州諸国から来ており、輸入品は2%程度の物価押し上げ要因でしかない。

3. 住宅需給

- (1) 不動産関係者によれば、アブダビでの住宅不足は、人口増加ペースが住宅の追加供給計画を上回るため、2010年までは少なくとも継続される見通しである。
- (2) 別のUAEを拠点とする投資会社による報告では、今後10年でアブダビは人口が倍増することが予想される中、25万戸の住宅需要が発生する。その一方で、供給は22万戸に留まると推定されている。